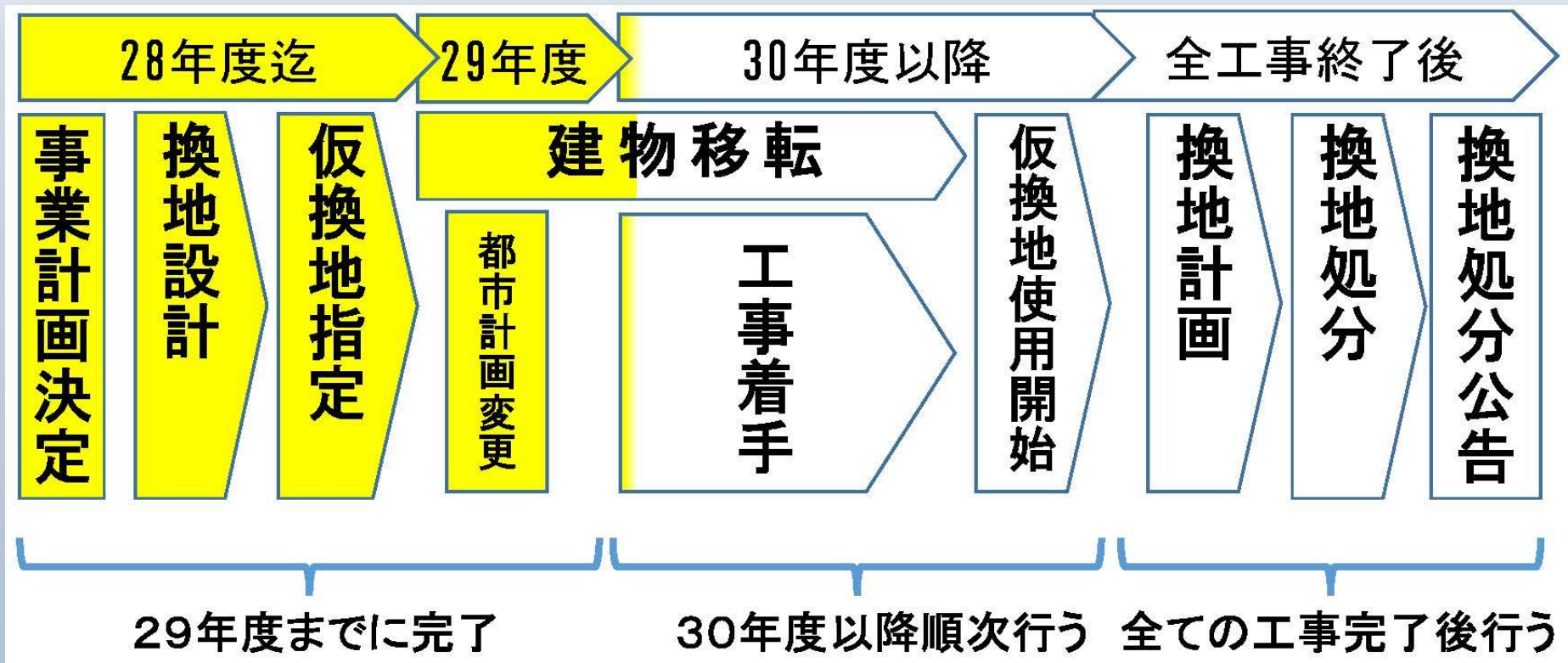


# 報告事項

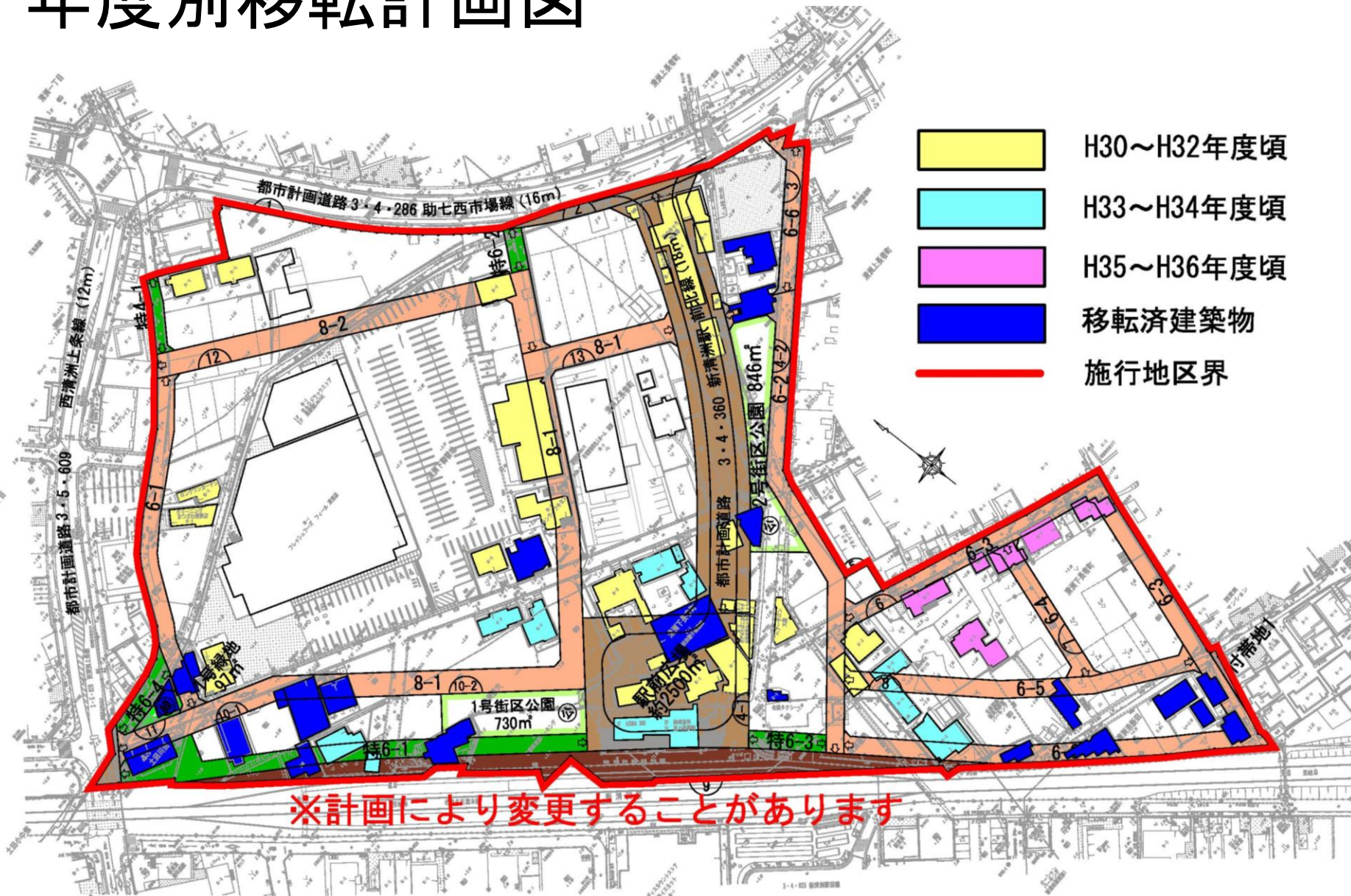
- (1) 事業の進捗状況について
- (2) 平成30年度、31年度の工事概要  
について
- (3) 宅地整備の内容について

# (1)事業の進捗状況について

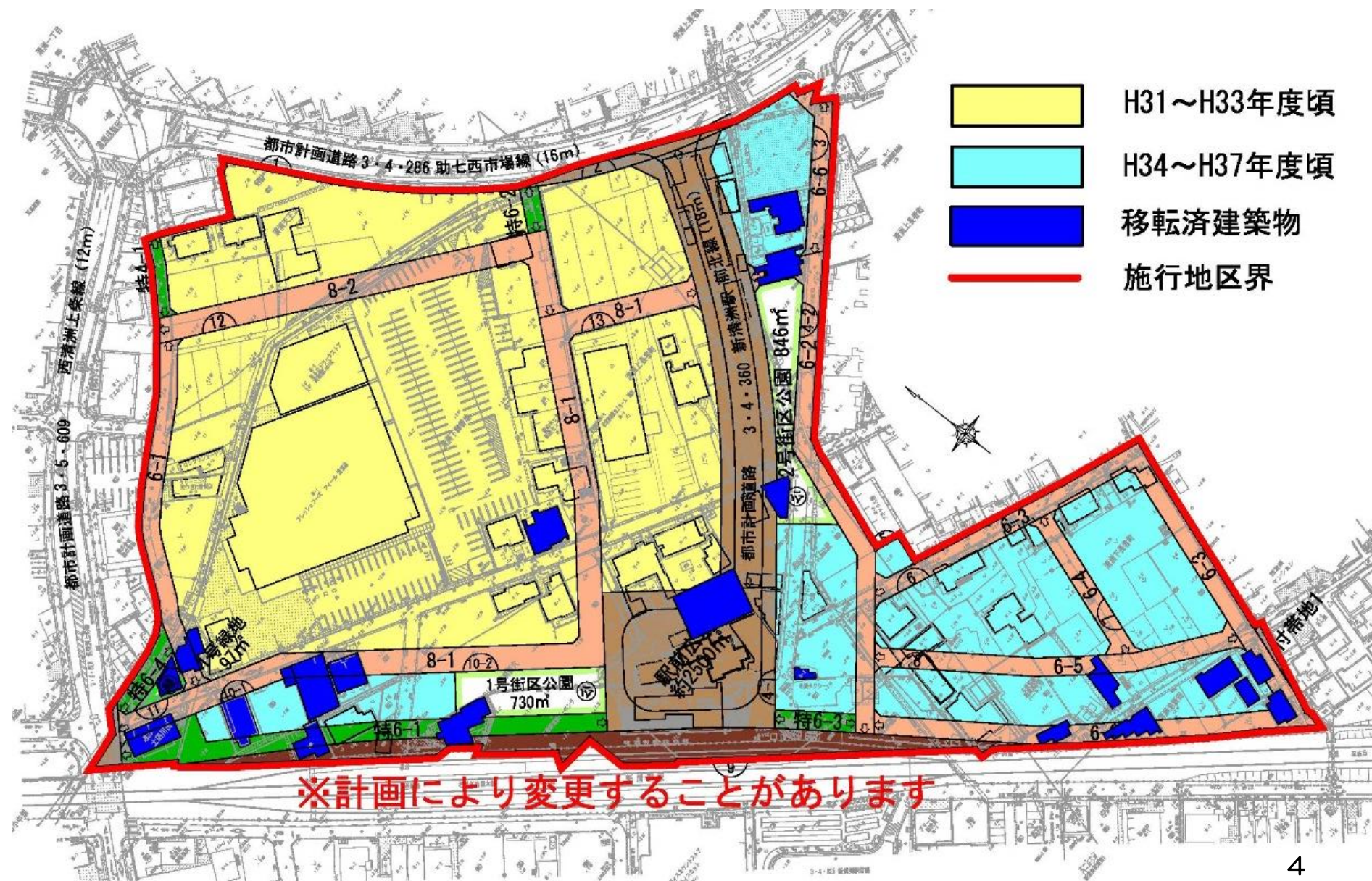
## 今後のスケジュール



# 年度別移転計画図

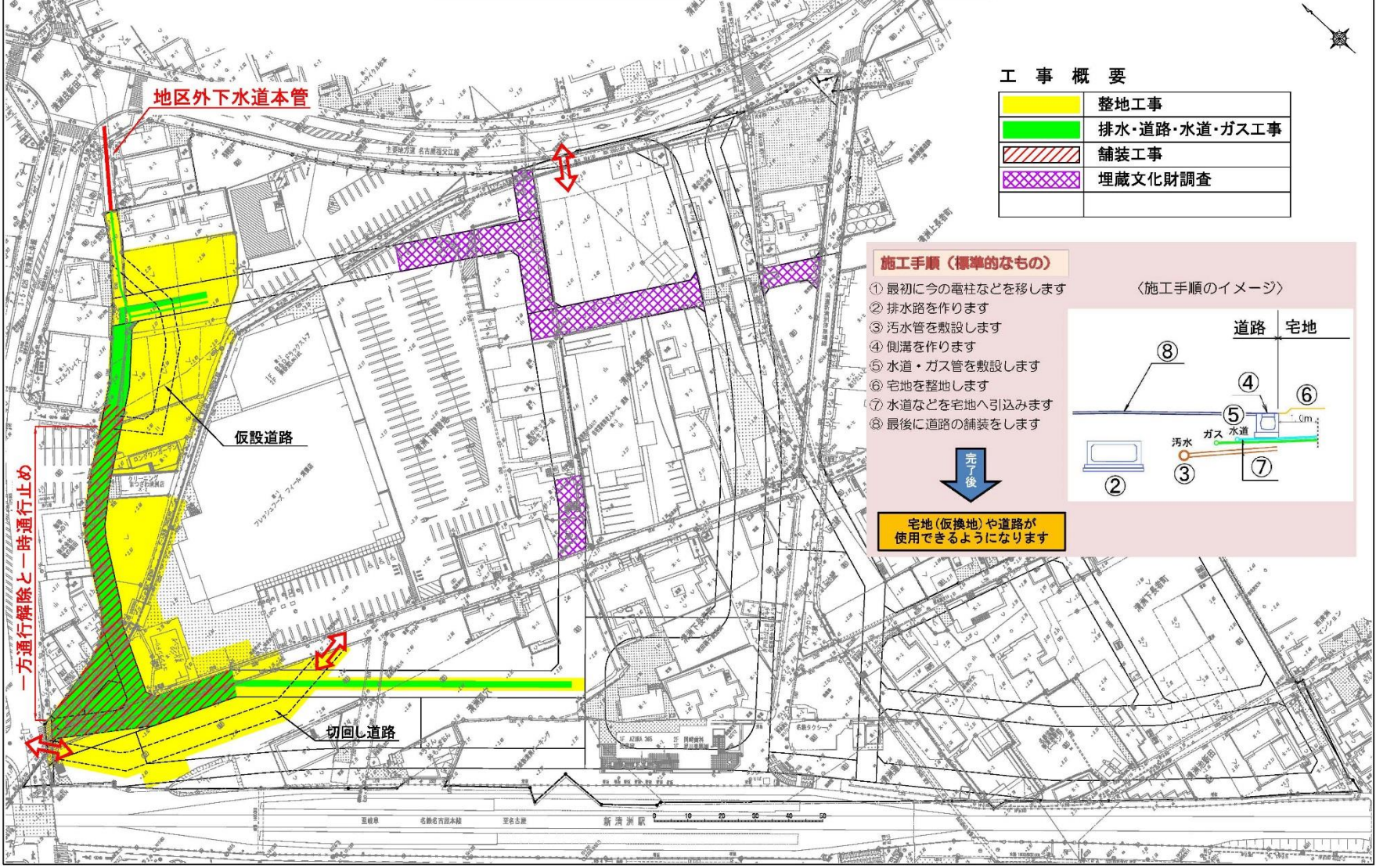


# 宅地整備予定図



# (2) 平成30年度、31年度の工事概要について

## 平成30年度工事予定図



### 工事概要

|  |               |
|--|---------------|
|  | 整地工事          |
|  | 排水・道路・水道・ガス工事 |
|  | 舗装工事          |
|  | 埋蔵文化財調査       |

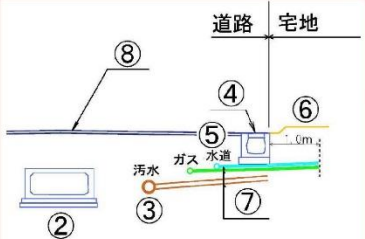
### 施工手順（標準的なもの）

- ① 最初に今の電柱などを移します
- ② 排水路を作ります
- ③ 污水管を敷設します
- ④ 側溝を作ります
- ⑤ 水道・ガスパ管を敷設します
- ⑥ 宅地を整地します
- ⑦ 水道などを宅地へ引込みます
- ⑧ 最後に道路の舗装をします

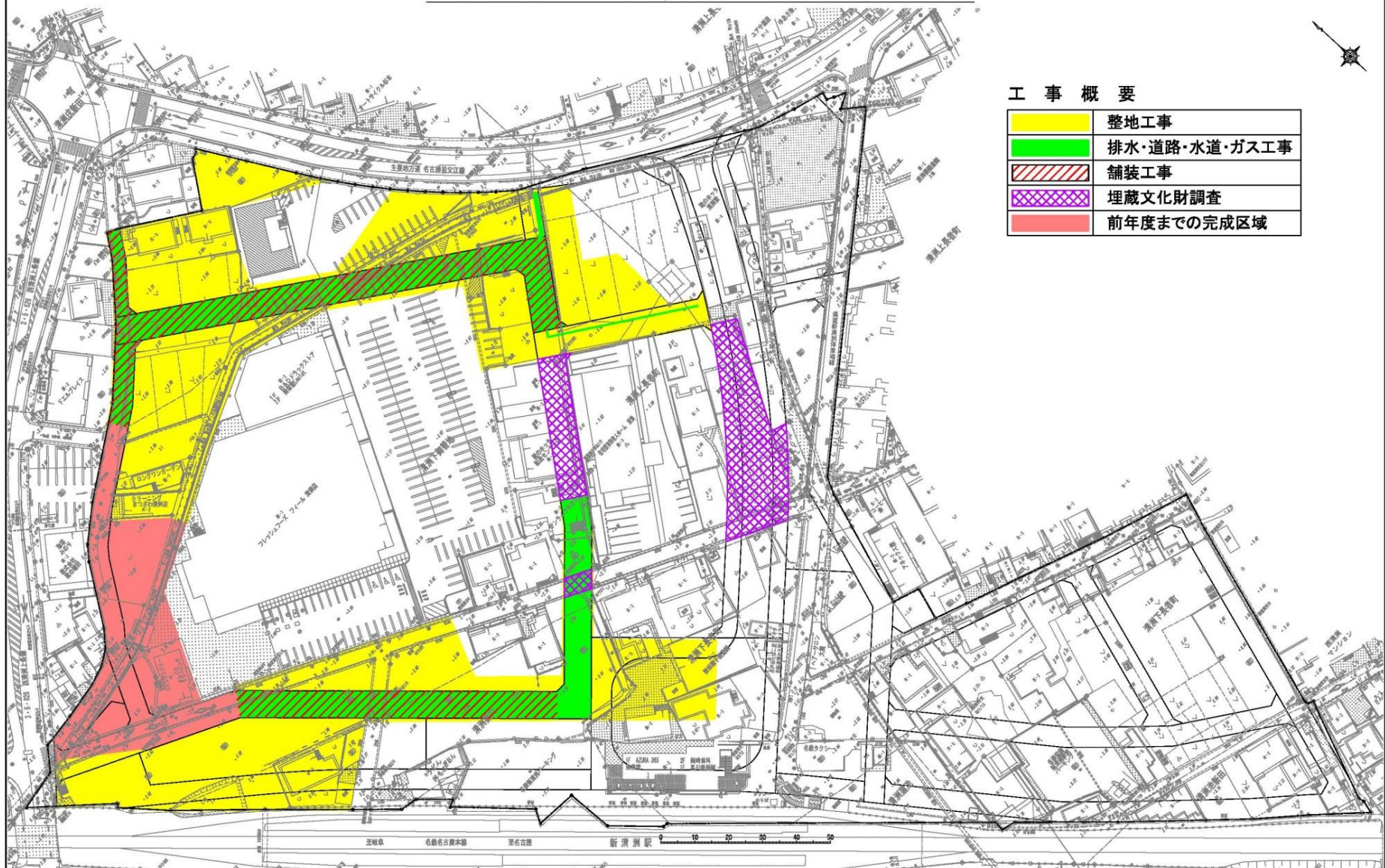


宅地（仮換地）や道路が  
使用できるようになります

### 〈施工手順のイメージ〉



# 平成31年度工事予定図



# (3) 宅地整備の内容について

## 宅地整備基準の策定の目的

本事業における宅地に関する整備方針について、良好な宅地の整備や利用効率の向上を図るため一定の必要事項を定めるものである。

## 1. 宅地内への供給施設(水道・ガス・污水)の引込管について

当地区では、水道・ガス・污水の引込管をあらかじめ設置しておくことで、建築時に道路を掘り返すことなくこれらの供給施設を使用することができるよう、施行者にて下記のとおり宅地への引込管を整備します。なお下記整備基準を超える分は個人負担となります。

| 内容    | 整備基準                                  |             | 備 考                        |
|-------|---------------------------------------|-------------|----------------------------|
| 設置本数  | 1敷地につき各1本ずつ(注1)                       |             | (注4)                       |
| 種類と口径 | 水道                                    | 口径13mm及び散水栓 |                            |
|       | ガス                                    | 口径30mm      |                            |
|       | 污水                                    | 口径100mm(注2) |                            |
|       | 雨水                                    | 個人で設置(注3)   |                            |
| 設置位置  | 敷地境界から1.0m離れた場所から水道→ガス→污水の順に0.5m間隔で設置 |             | 建築計画等に合わせ、現時点で変更することが可能です。 |

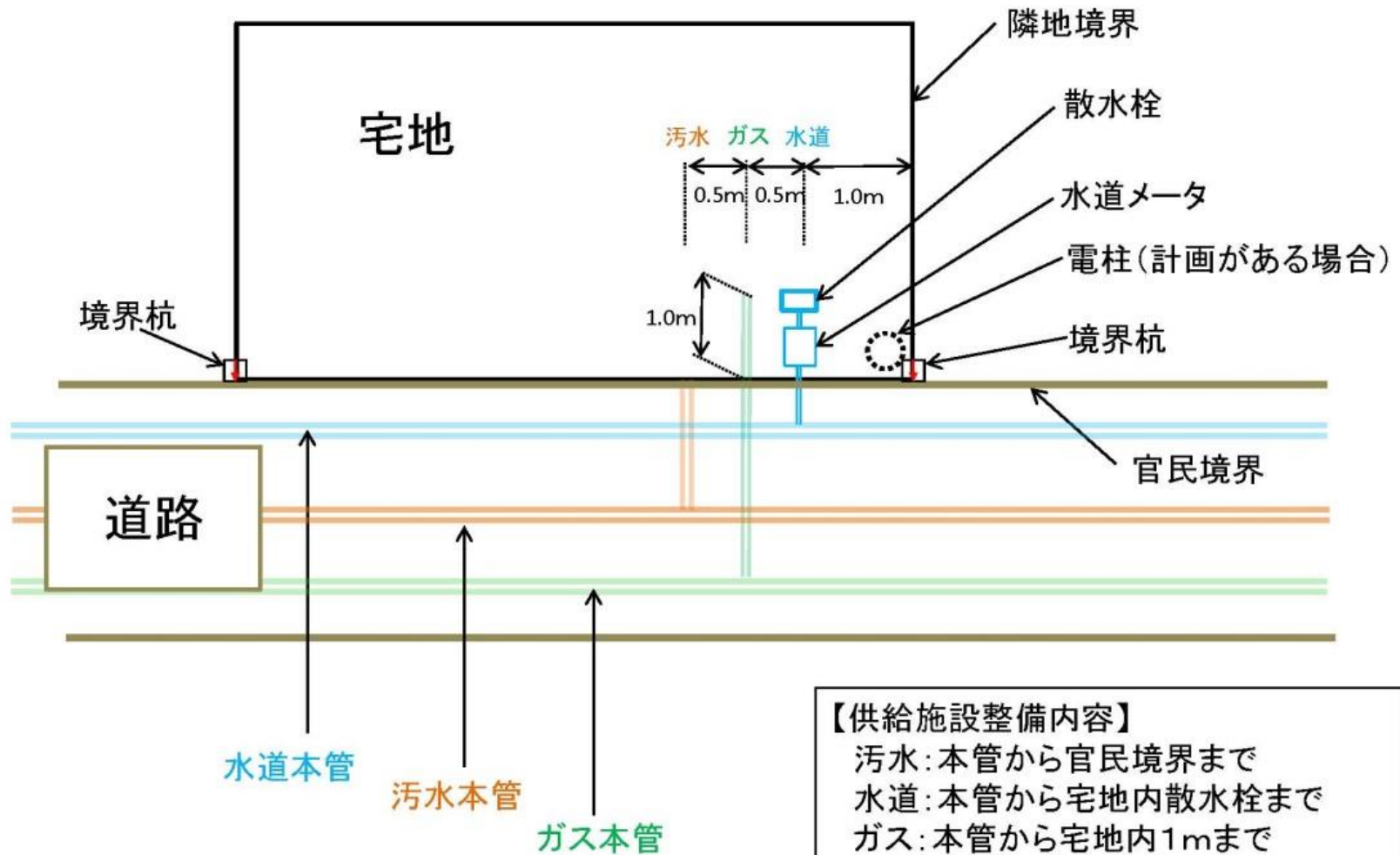
(注1) 1敷地とは、1筆の土地又は隣接する2筆以上の土地で、形状及び利用状況により1体をなしていると認められる土地のことをいいます。

(注2) 污水供用開始時に污水本管への接続の有無にかかわらず、一律に清須市下水道受益者負担金(400円/㎡)が賦課されます。

(注3) 使用収益開始後に宅内の配管工事等に併せ道路側溝へ接続してください。なお、道路占用許可が必要です。

(注4) 原則、整備基準を超える本数及び口径分は個人負担ですが、今まで使用されていたものがある場合は、供給事業者の基準等の範囲内で施行者にて負担します。

## 供給施設引込管標準配置図

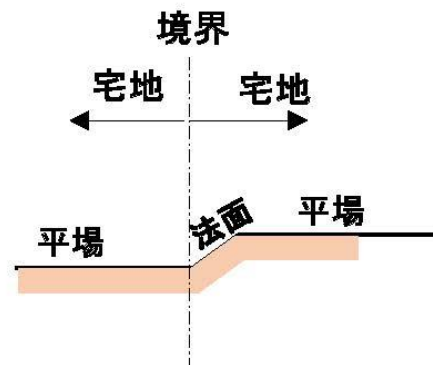


## 2. 宅地の造成計画について

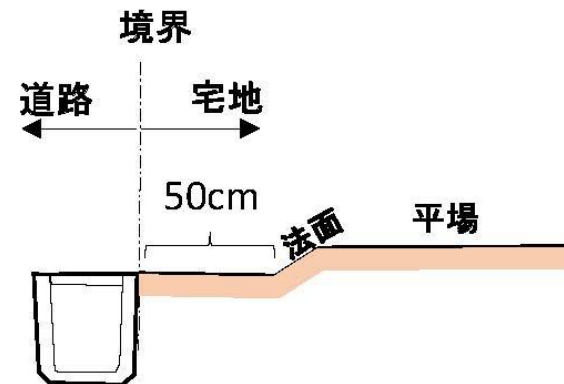
宅地の高さ(地盤高)は道路より低くならないよう造成します。周辺と高低差が生じる場合は土羽法面(土の斜面)とし、土羽法面は宅地の高い側に設置します。

| 内容  | 整備基準                                                                                                                                          | 備考                                                    |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 地盤高 | 道路より低くならない造成<br>高低差がある場合は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土羽仕上げで勾配は約30度</li> <li>・法面は道路境界から50cm離す</li> <li>・法面は地盤高の高い側に設置</li> </ul> | 変更を希望される場合は個別にお問い合わせください。なお、隣接地等に影響が生じる場合は、原則変更できません。 |

〔隣接宅地と高低差がある場合〕



〔道路と高低差がある場合〕



造成計画の断面イメージ図

### 3. 宅地内への電柱及びその支線の設置について

当地区では、新しいまちづくりの取り組みとして、交通の円滑化や道路景観の向上をはかるため、皆さまにご協力いただき宅地内に電柱やその支線を設置する計画としました。

| 内容 | 整備基準                                          | 備考                                                           |
|----|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 位置 | 電気・通信事業者の設置基準により、電柱及びその支線の設置が必要となる宅地を設定しています。 | 電柱及びその支線を設置する予定の宅地をお持ちの方には、改めて電気・通信事業者から承諾に伺います（1,500円/年/本）。 |

※また、電柱等が設置されない宅地でも、電線が宅地の上空（官民境界付近）を占用する場合があります。

# 宅地完成時のイメージ

